

平和新聞

発行 日本平和委員会
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会
〒543-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル 210号
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

カンパ6.5万円

稲嶺さん招き「沖縄連帯のつどい」

参加170人

3月沖縄連帯行動

「オール沖縄会議」共同代表・前名護市長の稲嶺進さんを招いて「沖縄連帯のつどい」が2月22日西成区内で170人の参加で開催されました。

このつどいは、大阪平和委員会、大阪のうたごえ協議会、安保破棄大阪実行委員会3団体が実行委員会をつくって準備・実現したものだ。

冒頭、辺野古基地建設現場のドローン映像が紹介されました。次に実行委員会を代表して西晃・大阪平和委員会会長が「昨年2月の県民投票で辺野古新基地建設反対が7割を超えたにもかかわらず、安倍政権はその民意を無視し続けている」と開会あいさつ。続いて稲嶺さんが次のように講演しました。

「防衛省は、昨年1月土砂埋め立てが予定されている名護市大浦湾の海底に海面から90mの深さまで達する軟弱地盤があることを認めた。防衛省の報告では、地盤改良するためには直径2mの砂杭を7万7千本も打ち込む計画となっている。しかし、国内の作業船でできるのは水深70mまで。この地盤改良工事には県の承認が必要だが、県が承認するはずがない。この工事には展望がない。しかも、新基地計画では軟弱地盤の広がる地盤改良対象区域はまさに地盤が一番強固でなければならぬ米軍機の離発着地点に該当している。」

米軍もこんな基地は使えないか。ないかと思っているのではないかと。辺野古新基地建設を許さない運動を強めよう。MV22オスプレイが名護市沿岸に墜落した際、日米地位協定によって市長の私さえ現場に入れなかった。地位協定の改定も急がれる」

暖房のきまにくい会場でのつどいでしたが、参加者の熱気と稲嶺さんの素晴らしい講演内容と「ちばりよく沖縄合唱団」による歌と演奏の3拍子で寒さを吹き飛ばすつどいとなりました。

なお、会場で6万5千円のカンパ(うち首里城再建3万5千円)が寄せられ、稲嶺さんに手渡されました。

以下は、参加者から寄せられた感想文です。

「闘いの先頭に立つ稲嶺さんの話は分かりやすかった。氏の健康を心から祈る」

「沖縄の思い、民主主義についてあらためて考えさせられた」「夜の外出は心配でしたが来てよかった」



大阪平和委員会は3月16日昼間、近鉄上本町駅前「沖縄連帯行動」を天王寺の会員を含め7人の参加で実施しました。

上羽事務局長がマイクで「政府は5年間で27兆5千億円もの大軍拡をすすめようとしている。こんな無駄遣いはやめて、感染症対策、国民生活支援に振り向けるべきだ」と訴えました。

参加者たちは、表面に「コロナ対策と国民支援に予算を」、裏面に「沖縄・辺野古米軍基地建設も止めるしかありません。軟弱地盤を隠蔽!!空から鉄の落下物」との見出しのチラシを道行く人に手渡ししながら「日米地位協定の抜本的改定を求める請願署名」を訴えました。

この行動を通して、同署名が7筆寄せられました。

強風のため宣伝物が吹き飛ばされるあいにくの天候でしたが、吹き飛ばされた宣伝物を拾い集めてくれる人や署名に応じてくれる人がいて心温まる行動となりました。

NY世界大会壮行会成功

大阪原水協「大阪代表団壮行会」が2月21日夜、大阪市内で90名の参加で実施されました。

この壮行会は、4月下旬にニューヨーク(NY)で史上初めて開かれる原水爆禁止世界大会(残念ながら3月11日中止決定)に大阪から参加する91名を

激励するため行われました。

原水協の統事務局長は、「日本全国から千名を超える参加者がNYに集い、核保有国及び核の傘を肯定する同盟国へ、核のない世界」を求める声を届ける。国連の場では、すでに81カ国が署名、35カ国が批准している。あと15カ国で「核兵器禁止条約」が発効する。被爆75年を画期的な年にしよう」と訴えました。

その後NYへ行く高校生や被爆者を含む各界各層の代表者が決意を語りました。

その後、原水爆禁止世界大会国際宣言起草委員会委員長で関西学院大学の富田宏治さんから「NPTを取り巻く情勢について」と題する講演を聞き、運動の核心を全員で学びました。

最後にNY行動に参加する大阪原水協副理事長の穂久英明さん(西淀川平和委員会会長)が閉会あいさつをし、ヒバクシャ裁判での国の不当な姿勢を批判するとともにニューヨーク行動の成功を訴えました。



今月の言葉「ものが言えない状態へ若者層押し込め」

「若者論」というジャンルに属する検討を筆者が行ってきたのは、振り返って思うに、ものが言えない状態へと若年層を押し込めている秩序や政治、社会文化構造への怒りであったように思う。そういう社会に面と向かって「刃向かう」のはエネルギーがいる。その手段も権力も持たない者にはなさらぬ、「若者はなぜものを言わないのか」といった「嘆き」を聞く度に、「そうではないんだけど」と、内心やるせない思いがする。彼ら彼女らが、社会人として思うさま振舞える、その機会や条件をどれだけ整えているか自問し続けている。

(「若者保守化のリアル」中西新太郎 花伝社)

【4月の行事案内】

- 3日(金) 日本平和委員会組織委員会 13:30
- 4日(土) 日本平和委員会常任理事会 (～5日)
「地球の未来のために」SDGsを知って行動しよう
13:30 大阪民医連
- 9日(木) 原水協理事会 10:30
- 11日(土) 平和委員会関西ブロック会議 10:30 @大阪平和委員会
- 15日(水) 沖縄連帯行動 12:00 近鉄上本町駅前
- 17日(金) 大阪高裁判決日行動 13:15 判決前集会・裁判所南側公園
日本平和委員会組織委員会 13:00
- 18日(土) 日本平和委員会理事会 (～19日) コミュニティプラザ八潮
大阪革新懇40周年講演会 14:00 大阪グリーン会館
- 23日(月) 安保23行動 12:00 淀屋橋駅
- 25日(金) 大阪平和委員会組織委員会 18:00



東住吉「役員10名のうち7人女性で賑やか」

私は2013年に大阪平和委員会に入会し、青年学生協議会の皆さんとこれまで様々な平和運動に取り組んできました。

活動を重ねる中で、平和への思いは更に強くなり、平和を守るために「平和委員会をもっと大きくしたい」「自分の住む地域にも平和委員会を作りたい」と思うようになりました。

そして、たくさんの方々の協力のもと、昨年12月に東住吉平和委員会を結成することができました。結成にあたり50名以上の方が入会してくれ、「東住吉に平和委員会ができて嬉しい」と言ってくれた方が何人もいました。私は念願が叶い喜びでいっぱいでした。

東住吉平和委員会では、一人一人の平和の思いを大切にしながら、みんなが楽しく活動できるように心がけています。月一回役員会議を開き、ニュースを発行し、毎月9日には憲法宣伝を行っています。役員10名のうち7名が女性で、会議も宣伝もとても賑やかで明るい雰囲気です。今後も楽しく自由で多彩に取り組みを広げていけたらと思います。

人それぞれ思想信条や考え方は多様であれ、「平和であって欲しい」「戦争はしたくない」というのは誰もが望むことだと思えます。そんな誰しもの「平和の願い」に響く取り組みを広げて、仲間をたくさん増やして、地域の人々の「平和の願い」を結集できるような組織にしていきたいです。

誕生したばかりの東住吉平和委員会を、皆さんと一緒に愛情いっぱい、大きく逞しく育んでいきたいと思えます。

(副会長・山本訓子)



3地域使い

西淀川 中東問題学習

西淀川平和委員会は2月26日夜、中東取材から帰ったばかりの「イラクの子どもを救う会」の西谷文和代表を招いて学習会を開催しました。アルコール入りの手指消毒薬など新型コロナウイルス感染対策も行う中、市民連合や新顔の方も含めて40名近い参加がありました。

西谷さんは、おおよ次のように述べました。
「1月3日にイラン司令官を



殺害し、その後のイラクからのミサイル攻撃で米兵が100人以上の脳挫傷者を出したことも隠すトランプ大統領は、この3年間でウソをつかなかった82日はゴルフに行った日だという。本当に沖縄の米軍は日本を守るのか？消費増税も仕方ないのか？と、選挙に行かない人に、選挙はAかBかではなくCがあるだろうと訴えて、投票に行ってもらおう！カジノ・万博の大阪では、利権のトライアングル、安倍政権・維新・吉本興業のイメージCMに気をつけよう」

感想―西谷さんの話を聞いて私が西谷さんの話を聞いて思ったことは、西谷さんの話は高校生の私でもとても分かりやすかったです。最初に、政府やマスコミは卑怯だと言っていたのが印象的でした。それに、政府やマスコミは選択肢として、AとBしか出さないけど本当はCもある、という考えにすぐ納得しました。

(HT 高校1年生)

高槻・島本総会盛大に

高槻・島本平和委員会「新春のつどい・総会」が2月29日開かれ、コロナウイルスの感染拡大

で混乱する中でしたが、44名の方が集まりました。

山口義一代表のあいさつの後、民間団体NGO現地代表で医師の中村哲さんの生前の活動を記録したドキュメンタリー作品「アフガンに命の水を」を鑑賞。次の感想が寄せられました。「中村医師の思いが伝わり涙がでてきました。普通に使用している水の大切さをひしひしと感じました」

続いて、4月にNYで開かれる原水爆禁止世界大会に高槻から参加する3人(女子高校生・青年教師・新婦人)から熱い決意表明とカンパの訴え、さらに原爆症認定ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟署名、裁判の支援・傍聴の訴えがありました。

後半の総会では、事務局長の植田さんより活動報告・方針、会の重点課題、仲間づくりについて丁寧な提起がなされ、会計報告・監査、次期役員体制とすべて承認され無事閉会しました。閉会後の食事会では話題いっぱい盛り上がり、その中で1人仲間を迎えました。

(報告―理事 松本 千峰)

天王寺第10回総会

節目となる第10回天王寺平和委員会総会が2月22日午後、参加29名で開催されました。労働学校の中田進先生(82歳)から戦争体験(家族で満州に移住、

敗戦直前に父に赤紙、内戦に巻き込まれ、引き上げ船で舞鶴へ、陸軍病院と高野川引き上げ者寮での生活や平和の大切さ)を聞きました。続いて大阪原水協・統事務局長から地球滅亡残り100秒などの資料をもとに「核戦争の危機を、世界中の国々の平和運動や日本の被爆者を中心とした草の根の運動が食い止めている。世界を動かすスゴイ運動をみんなですすめよう」という話がありました。

2部の総会では、1月に亡くなった会員の中辻トヨ子さんに黙とうをささげた後、昨年1年間の経過報告と総括、会計報告と監査報告、方針、新役員提案が行われました。

討論では全員が自己紹介し1部への感想を出し合い、全員の手拍子で提案が承認されました。参加者からは中田先生や続さんの話が聞けて、良かったとの感想とともに、対話を大切にする署名行動を高橋さんや郷原さんに負けないよう頑張りますと決意の発言も飛び出しました。

